

No.	15	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報を入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。				
課題	子育て家庭にとって必要な情報のニーズの変化を把握する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 子育て情報チラシ等の作成及び提供 チラシやサポートマップ、カレンダー等を作成し、子育て関係機関等に提供する。 2 ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区独自のホームページ子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用を行う。 3 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子ども連れの来庁者が遊べるキッズコーナー「すまいる」に配架する。 4 保育案内人の出張相談 子育てサロン等に保育案内人を派遣し、保育所等の利用を希望する保護者に対する出張相談を実施する。 				
計画目標	子育て支援情報サイト「なかがわっ子」における掲載情報のニーズ調査の実施				

No.	16	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣旨	面接や家庭訪問をとおして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。				
課題	一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、関係機関とも連携し、適切なサービスにつなげていく必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊婦面接の実施 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。 2 新生児・乳児訪問の実施 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦を対象に、3(4)か月児健診までに保健師・助産師が家庭訪問で相談にのることにより、育児不安の軽減を図り安心して育児に取り組めるよう支援する。 				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98% 				

No.	17	事業名	乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	民生子ども課、中川図書館、富田図書館、社会福祉協議会		
趣 旨	赤ちゃんと保護者が絵本を介して楽しいひとときを持つきっかけとなるように、絵本の読み聞かせを行い、親子の触れ合いや子どもたちが本に親しむ機会を提供することで子どもの健やかな成長を支援する。				
課 題	「ブックスタート事業」は財源に限りがあるため、令和3年度以降にむけて持続可能な方法を検討する必要がある。				
事業内容	<p>1 3(4)か月児健診時 健診後に保健センターのスペースで図書館職員やボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本をプレゼントする「中川区ブックスタート事業」を行う。</p> <p>2 1歳6か月児健診時 健診前（分室は健診後半）に、保健センターのスペースで図書館職員やボランティアが絵本の読み聞かせなどをする「はじめての本との出会い事業」を行う。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3(4)か月児健診時 保健センター20回 分室17回 ・1歳6か月児健診時 保健センター16回 分室12回 				

No.	18	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	中川児童館		
趣 旨	子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。				
課 題	より多くの方に参加していただくため、企画・広報を充実させる必要がある。				
事業内容	<p>1 スターペアレンティング講座の開催 「中川子育てネットワーク※」が子ども・子育て支援センターとの共催事業として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶ講座を開催する。</p> <p>2 フレッシュママの子育て入門の実施 0歳児の特性や生活リズムを学ぶとともに、ふれあいリトミックや、ベビーマッサージによる親子のふれあいを行うことにより、第1子を抱える母親が子どもに対する愛情を再確認するきっかけを提供する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回 				

※中川子育てネットワーク

区役所を中心に区内の関係機関や団体が、地域における子育て支援の促進を目的として相互に連携・協力し、講座やイベント、情報発信や支援者の育成などを行う。

No.	19	事業名	若年の親や発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣旨	若年の親や発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。				
課題	若年の親対象の教室の参加者が少ないため、参加勧奨の工夫が必要である。また、発達に遅れのある子どもをもつ親のグループは、中心となる親に継続的に参加していただくように努める必要がある。				
事業内容	<p>1 ママともクラブ 〔対象〕10代から22歳までの就園前の子どもの母および妊婦 〔内容〕運動、親子遊び、子育ての話、子育て相談など</p> <p>2 パンダグループ 〔対象〕発達に遅れのある子どもの親 〔内容〕交流会、学校見学、勉強会、講演会などを、数人のリーダーママを中心に実施</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ママともクラブの開催 4回 ・パンダグループの開催 9回 				

No.	20	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	区内数か所においてイベントを開催し、子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点などによる支援につなげることにより、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。				
課題	イベントへの参加をきっかけに地域の子育て支援へと円滑につないでいくための方策を検討する必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭向け交流イベントの開催 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク」主催による子育て家庭向け交流イベントを区域ごとに実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ①区内西部（露橋スポーツセンター） あそびの出前①「親子でぎったんぱっこん」（6月）の開催 ②区内中央（区役所講堂） なががわキッズフェア（10月）の開催 ③区内東部（富田北プール） あそびの出前②「中川子育てハッピーランド」（1月）の開催 				
計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回				

No.	21	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター※」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。				
課題	サポーターの質の向上及び活動内容の魅力向上とともに、地域の子育て支援の担い手の活動場所としての受け皿を確保する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 中川区独自の取り組みとして、地域での子育て支援活動の担い手を養成するための講座を開催する。 2 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 「なかがわっ子サポーター」としてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付けるための講座を開催する。 3 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 「なかがわっ子サポーター」が、地域で子育て支援活動を行うための場の確保やあっせんを行う。 4 区内3高校との連携による「なかがわっ子高校生サポーター」事業の実施 高校生の段階から乳幼児やその家庭との関わり方を学ぶことにより、若年層による地域での子育て支援の機運を醸成する。 				
計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 216件				

※なかがわっ子サポーター

中川区内で、子育てサロンや子育て交流イベント等の地域における子育て支援活動を行うボランティア。

No.	22	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	保健センター保健予防課 中島保育園(エリア支援保育所)		
趣旨	区役所や保健センター、エリア支援保育所等が協働し、保育士や保健師、保育案内人の派遣、大型絵本や遊具の貸し出しなどにより、地域の子育てサロンの運営を支援し、子育てサロン事業の活性化を図る。				
課題	最も身近な存在である地域の子育てサロンの魅力をより向上させる必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 専門職の派遣 エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人の専門職を派遣することにより、各種講座の開催や子育てに係る相談を実施する。 2 子育て支援物品の貸し出し 子育てサロン事業の活性化を図るため、大型絵本をはじめとする子育て支援物品の貸し出しを実施する。 				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230件				

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	23	事業名	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト ～子どもを守るつながりづくり～ ②子どものいのちを守る子育て防災対策事業	区分	新規
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	総務課		
趣 旨	南海トラフ地震等や風水害等の大規模災害から子どものいのちを守るために、愛知県立大学と協働して保育所をモデルとした防災対策を策定・検証し、他の保育所等の施設のほか在宅の子育て家庭に対してセミナー等を開催する。				
課 題	災害弱者といわれる高齢者・障害者などへの横展開や、現状の地域における災害対策への広がりをもどのようにして図っていくかを検討する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 モデル保育所（正色保育園）における防災対策の策定および検証、訓練等を実施する。 2 他の保育所等の施設に対し、策定した防災対策の展開のための研修会を実施する。 3 在宅向けの防災対策を策定し、地域において子育て家庭等への防災セミナーを実施する。 				
計画目標	在宅の子育て家庭向け防災セミナーの実施 1回				

No.	24	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待の発生予防や早期発見などの適切な対応を図るため、「なごやこどもサポート中川区代表者会議」をはじめとする連絡会議や、区独自の「児童虐待情報データベースシステム」などを活用し、関係機関による情報共有等の連携を強化する。				
課 題	児童虐待情報データベースシステムの安定的な運用及び全区展開				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 要保護児童対策地域協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の代表者が構成員となっている「なごやこどもサポート中川区代表者会議」を年1回開催する。 ・要保護児童等の情報共有及び連携支援を行うため「中川区実務者会議」を月1回開催する。 ・個別ケースを検討するため「サポートチーム会議」を随時開催する。 2 児童虐待情報データベースシステムの活用 <p>システムを活用し、関係機関の情報共有・連携支援の強化を図り、各機関の対応状況を見据えた支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を行う。</p> 3 児童虐待防止の広報・啓発活動 <p>「名古屋市児童を虐待から守る条例」に基づく5月と11月の児童虐待防止推進月間において、オレンジリボンキャンペーン活動を実施する。</p> 				
計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間				

No.	25	事業名	キッズコーナー「すまいる」	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣 旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを設置し、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースを提供する。				
課 題	来庁者にとってキッズコーナーをより利用しやすくするための環境づくりをする必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもが安全に遊ぶことができるコーナーの設置 子ども連れの来庁者が安心して過ごせるように、安全なスペースに子ども用の玩具や絵本を設置する。 2 子育て支援情報チラシ等の配架 子育てサロンや地域子育て支援拠点などの情報チラシを配架し、区内の子育て支援情報を入手しやすい環境をつくる。 				
計画目標	来庁者向けの案内表示の見直しの実施				

めざすまちの姿 みんなにやさしいまち 施策 子ども・青少年の健全育成

No.	26	事業名	青少年育成区民大会の開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	<p>学校間での思いの共有や、情報交換・意見交換の場として「青少年育成区民大会」を開催し、中高生が直面する問題をひとつ取り上げ、区内の中高生が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表することで、青少年の健全育成・非行防止を促進する。</p>				
課題	<p>活発な情報交換・意見交換の場とするために、多くの人に参加、発表していただく必要がある。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成区民大会の開催 [実施時期] 令和3年2月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] 中高生による問題に対する取り組みの発表による情報交換 				
計画目標	青少年育成区民大会の開催 1回				

No.	27	事業名	青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	<p>「青少年育成区民大会」と併せて実施し、区内の中高生が普段の練習の成果を発表するにとどまらず、自分たちの手で発表会の運営や、チラシデザインの制作などを協力し合いながら行うことで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。</p>				
課題	<p>自主性を育成するためにも多くの学校に参加してほしいが、参加団体数が減少してきているため、参加団体を増やすために企画の充実を図る必要がある。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年音楽のつどいの開催 [実施時期] 令和3年2月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] 区内の中高生による音楽活動の発表と運営 				
計画目標	青少年音楽のつどいの開催 1回				

No.	28	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	子どもたちが異年齢間で交流し、様々な体験を通じて社会生活を身につけられる子ども会活動を促進するために、子ども会活動への支援を行うとともに、区子ども会連合会と連携して子ども会行事の活性化を図る。				
課題	子どもの減少や余暇の過ごし方の変化、育成者不足による負担増などで、子ども会への加入者の減少や、地域子ども会の解散が進んでいる。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営を支援する。 3 区子ども会連合会のホームページを活用し、活動内容などの紹介を行い、広く区民の皆さまに子ども会の活動を周知する。 4 子ども会が未設立の地域の児童のために、子ども会を設立していく手法を関係機関と話し合い、子ども会設立に向けて準備を行う。 				
計画目標	子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催				

No.	29	事業名	思春期セミナーの実施	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣旨	講話や体験をとおして、いのちの大切さを学び、自らの性について考え、行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携しておこなう。				
課題	ほとんどの小学校でセミナー（学校独自開催も含む）を実施しているが、中学校は半数程度である。系統立てて学習するために、中学校での実施校を増やしていく必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校におけるセミナーの開催 主に4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦体験、生まれる体験 2 中学校におけるセミナーの開催 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]:いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]:赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇、水の交換実験 3 中学校（特別支援級）におけるセミナーの開催 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]:いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]:赤ちゃん人形の抱っこ体験 				
計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23回 中学校（特別支援級含む）8回				

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	30	事業名	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト ～子どもを守るつながりづくり～ ③若者と未来の子どもを守る高校生向け思春期保健事業	区分	新規
担当課	保健センター保健予防課		関係部署（所）	中川児童館	
趣 旨	人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されており、望まない妊娠や10代の妊娠を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身に着けるため、高校生向けの事業等を実施する				
課 題	継続して実施できるように内容等を調整していく必要がある。				
事業内容	<p>1 思春期セミナーの開催 いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験・交流を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体験・交流]赤ちゃん人形の抱っこ体験、乳幼児とその親との交流</p> <p>2 リーフレットおよび相談先カードの作成・配布 知識の定着を図るためのリーフレット及び性や思春期に関することについて相談可能な機関一覧が載ったカードの作成・配布を行う。</p>				
計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1回				

No.	31	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署（所）	支所区民福祉課	
趣 旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
課 題	学習支援事業に対する中学生本人の意欲を高めるとともに親の理解を深める必要がある。				
事業内容	<p>5月に生活保護世帯・ひとり親家庭の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業の参加についてのパンフレットを送付して、参加を促すとともに、特に参加が必要と判断される子どもに対しては参加するよう個別に地区担当員から指導する。</p> <p>学習支援は、子どもの学習指導をするだけでなく、子どもの居場所づくりの役割も果たす。</p>				
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率90%）				

No.	32	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み		区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会			
趣旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム ^{※1} 」の深化・推進をめざす。					
課題	区内でも地域により状況が異なるため、地域包括ケアシステムの深化・推進にあたっては、地域課題を的確に把握し必要な取り組みを進める必要がある。					
事業内容	<p>1 地域包括ケア推進会議等の開催（カッコ内は設置目的）</p> <p>（1）区地域包括ケア推進会議（区の地域包括ケアシステム構築の推進母体）</p> <p>（2）認知症専門部会（認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など）</p> <p>（3）生活支援部会（生活支援ニーズの把握や情報の見える化など）</p> <p>（4）孤立（虐待）防止ネットワーク部会（地域支援ネットワークの推進など）</p> <p>2 地区診断^{※2}等を受けての取り組み</p> <p>地区診断等により把握した地域課題に基づき、健康寿命を延ばすための地域の取り組みなどを検討する。</p>					
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 4回 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回 					

※1 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※2 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

No.	33	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり		区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会			
趣旨	認知症に対する正しい理解と知識を普及し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。					
課題	認知症施策については、認知症当事者の立場に立った取り組みになっているかを常に意識して事業内容を検討する必要がある。					
事業内容	<p>1 認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を開催する。</p> <p>2 認知症セミナー・講演会の開催</p> <p>認知症に関する区民向けのセミナー及び講演会を開催する（認知症セミナーは区医師会等と連携し実施）。</p> <p>3 中川区認知症のしおりの普及啓発</p> <p>認知症になったときに、その進行に合わせて利用できる医療・介護サービス、地域の取り組みを紹介する「中川区認知症のしおり」の普及啓発に努める。</p>					
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座受講者数（令和2年度末までの累計） 13,100人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回 					

No.	34	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	地域住民及び民間事業者等の協力を基に地域のつながりを深め、支援を必要とする高齢者を適切な関係機関につなぐ。 また、高齢者が必要とする生活支援を気軽に利用できるよう、ニーズの把握に努めるとともに生活支援の取り組みの充実等を図る。				
課題	地域に根ざした生活支援・見守り支援の充実のために、専門機関のみでなく地域住民や地域団体との円滑な協働により取り組みを継続する必要がある。				
事業内容	<p>1 高齢者サロン・共生型サロン[*]の実施を推進 高齢者が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる高齢者サロン・共生型サロンを拡大・充実させる取り組みを推進する。</p> <p>2 生活支援ガイドブック（なかがわ人生の達人帖）の更新 買い物支援や外出支援など、区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を自助・互助・公助の観点で整理したガイドブックについて、内容を更新し、普及啓発を図る。</p> <p>3 数え100歳のお祝い 区内に居住する数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金（市事業）及び保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。</p>				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和2年度末） 120箇所				

※高齢者サロン・共生型サロン

高齢者の方が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる場所。高齢者サロンは高齢者同士が、共生型サロンは子どもから高齢者までが一緒に交流でき、地域の「お茶の間」や「たまり場」として、元気な高齢者を始め地域住民等が自主的に運営している。

No.	35	事業名	セカンドステージセミナーの開催	区分	新規
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	高齢期にあっても、住み慣れた地域でこれまでの知識や経験を地域に活かし、いきがいをもってセカンドステージを過ごせるよう支援する。				
課題	これまで地域活動への関わりが薄かった方により多く参加していただき、今後の地域活動に繋がるように、企画内容、案内方法等を検討する必要がある。				
事業内容	<p>・セカンドステージセミナーの開催 地域活動に関心を持つ高齢者や実際の活動の担い手の増加、個人活動の幅の広がりや地域のグループの活動の多様化を図る。 [実施時期] 令和2年11月頃 [内 容] ①基調講演 今後のいきいきとしたセカンドステージを送るための一助となるような内容とする。 ②地域団体の活動を紹介するブース展示 参加者と地域団体が直接繋がる機会とし、今後の活動参加の促進を図る。</p>				
計画目標	セカンドステージセミナーの開催 1回				

No.	36	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	区障害者自立支援連絡協議会*との連携などを通じて、障害者の地域生活支援に努める。				
課題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、ニーズも多様化する中で、障害者の地域生活支援の充実に継続的に努める必要がある。				
事業内容	<p>1 区障害者自立支援連絡協議会との連携 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップをめざす。</p> <p>2 中川区災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック（私の防災ノート）の普及啓発 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、「事前に備えておくこと」や「災害発生時の避難行動」、「指定避難所の設備状況や避難所生活の留意点」などをまとめたガイドブックについて、講座の開催などを通じて普及啓発を行う。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの開催 1回以上 ・私の防災ノートに係る講座などの開催 1回以上 				

※障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

No.	37	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	区障害者自立支援連絡協議会との連携などを通じて、障害の理解の促進に努める。				
課題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するためには、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進に努める必要がある。				
事業内容	<p>1 チームメッセンジャー事業の実施 障害者やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて、障害に関する出前講座を実施する。</p> <p>2 区民まつりへの出展 障害について身近に感じられるよう、障害者スポーツの体験などができるブースを出展する。</p> <p>3 授産製品販売の促進 障害に対する理解を深め、障害者の就労支援にもつながるよう、区役所・支所での授産製品販売を促進する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり23回以上 				

No.	38	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署(所)	—	
趣旨		<p>がんは早期発見により早期治療が可能なため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に乳がんは自己触診で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。</p> <p>あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し生活習慣病の予防につなげる。</p>			
課題		<p>区民が生涯にわたって健康を維持できるように、中・高齢層にとどまらず若年層にも早期のがん予防や生活習慣病の予防の必要性を訴える必要がある。</p>			
事業内容		<p>1 がん検診の普及啓発 子育て中の母親や高齢者の集まる場所において、がん検診の案内・説明を行う。</p> <p>2 乳がん講座の実施 主に乳幼児を子育て中の母親を対象に、乳がんの基本知識の講話、乳がんモデルを活用した体験による乳がん自己触診法の説明をおこなう。</p> <p>3 健康相談の実施 区民まつりや地域サロンにおいて、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につながるよう支援する。</p>			
計画目標		<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談を実施 			